

内閣改造についての会頭コメント

今回の組閣人事では、中国、韓国との関係修復が急がれる中、関係閣僚を留任させ、継続性を重視したことは評価できる。

反面、ベテラン議員が多く起用されたが、必ずしも適材適所とは言い難く、政権基盤の強化にどれだけ資するのか見通せない。

「選挙管理内閣」という印象で、近いうちの総選挙で国民の意思が反映された新しい政治体制をスタートさせた方が、国民の気持ちもすっきりするのではないか。

地元選出の前原国家戦略相には、中小企業活力倍増が柱の一つとなっている日本再生戦略の推進を期待する。

以 上

平成24年10月1日

京都商工会議所
会頭 立石 義雄